

令和元年度
社会福祉法人大田原市社会福祉協議会
事業報告書

目次

I	地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業	2
1	安心生活見守り事業	2
(1)	安心生活見守り事業	2
2	生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）	12
3	地域福祉活動計画の推進	14
(1)	第3次地域福祉活動計画推進事業	14
4	小地域福祉活動	15
(1)	小地域福祉活動計画推進研修会の開催	15
(2)	小地域福祉活動計画の策定	16
(3)	福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業	18
(4)	地区社会福祉協議会活動支援事業	18
(5)	友愛訪問活動への支援	20
5	ボランティア活動の推進	20
(1)	ボランティアセンター事業	20
(2)	災害にも強い地域づくり事業の推進	22
6	福祉教育（ふくし共育）推進事業	23
(1)	福祉教育（ふくし共育）推進事業	23
(2)	広報充実事業	25
(3)	社会福祉士養成課程実習生の受入れ	25
II	福祉サービスを利用しやすくするための支援事業	26
1	総合相談事業の実施	26
(1)	生活困窮者自立支援事業	26
(2)	心配ごと相談事業	26
(3)	福祉金庫貸付事業	27
(4)	生活福祉資金貸付事業	27
(5)	墓地清掃サービス事業	28
2	日常生活自立支援事業	28
(1)	日常生活自立支援事業（あすてらす）	28
III	在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～	29
1	介護保険サービス	29
(1)	訪問介護事業	29
(2)	受託訪問介護事業の推進	29
2	障害福祉サービス	30
(1)	障害福祉サービス事業	30
3	その他のサービス	30
(1)	日常生活用具貸与事業	30
(2)	リフト付き自動車貸出事業	31
(3)	軽トラック貸出事業	31
(4)	福祉サービス適正化事業	31
(5)	大田原市介護支援ボランティアポイント制度	31
IV	法人の基盤強化事業	32
1	福祉のまちづくり市民参加運営事業	32
(1)	理事会・評議員会の開催	32
(2)	会員加入の推進	37
2	基金・寄付事業	37
(1)	善意銀行運営事業	37
(2)	地域福祉基造成事業	38

(3) 赤い羽根共同募金事業.....	38
3 その他.....	40
(1) 大田原市福祉センター管理運営事業.....	40
(2) 被表彰者について.....	40

令和元年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

平成31年度(令和元年度)、大田原市社会福祉協議会は、下記の3つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

平成30年度に大田原市の地域福祉計画と一体的に第3次地域福祉活動計画を策定した、「**お**たがいを**お**もいやり**た**のしく**わ**らってくださるまち大田原」を基本理念として「市民参加の地域福祉推進」を目的として、地域との連携のもと計画の**推進**に取り組んでいきます。

住んでいる地域の良いところや課題などを話し合い、みんなで協力しながら「支え合いの地域づくり」(互助・共助)を進めるための「小地域福祉活動計画」策定に**平成30年度**から取り組み、平成31年度は、**5地区が策定作業を行ない**、市内全地域での策定を目指しています。

市から「生活困窮者自立支援事業」を受託し、法律や制度では解決が困難な問題を抱えた方の相談を受け、それぞれの相談者に見合った必要な支援を行っています。

他の取り組みとしては、「安心生活見守り事業」で地域ぐるみの見守り活動、「生活支援体制整備事業(ささえ愛おたわら助け合い事業)、福祉委員による小地域ネットワーク活動、ふくし共育推進事業、ボランティア活動の推進、共同募金運動、介護保険サービスや障害福祉サービスなどを実施しました。

また、令和2年に入り、世界的に新型コロナウイルス感染が拡大しており、緊急の資金貸付など市民への相談支援活動に取り組みました。

＝平成31年度(令和元年度)重点事業＝

- (1) 第3次地域福祉活動計画
- (2) 小地域福祉活動計画
- (3) 生活困窮者自立支援事業

事業実施状況

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

1 安心生活見守り事業

(1) 安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」を大田原市からその一部を受託しています。平成21年度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや買い物支援などを基盤支援として、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施しています。

本事業は、見守りの必要な方の把握、地域ネットワークの形成、情報の共有を行ない、平成26年度には市内12地区での見守り隊（見守りの会）が発足し、全地区で事業を展開してきました。

令和元年度は、「生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）」と連携して、住民主体の地域福祉を推進し、地域の課題解決力を高めるため内容の充実を図っています。

安心生活見守り事業の3原則

- ・ 基盤支援を必要とする人々とそのニーズを把握する
- ・ 基盤支援を必要とする人がもれなくカバーされる体制をつくる
- ・ 基盤支援のための安定的な地域の自主財源確保に取り組む

①各地区の状況

i) 黒羽見守り助け合い隊

隊の概要

発足式年月日	平成22年3月16日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	130人
隊員数	102人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月18日	買い物ツアー（ベイシア那須塩原店）	22人
6月15日	茶わ会（北滝、片田、亀久、矢倉地区） 亀久公民館	33人

6月20日	第1回隊長会議（活動報告、活動計画等）	13人
6月20日	第1回推進会議（活動報告、活動計画等）	43人
7月31日	絵手紙（暑中見舞い）送付 黒羽小学校より	118人
10月26日	茶わ会（堀之内、北区、南区東、南区西地区）	39人
10月27日	芭蕉の里くろばね秋まつり募金活動	15人
11月19日	買物ツアー（ザ・ビッグエクストラ那須塩原店）	22人
12月25日	絵手紙（年賀状）送付 黒羽小学校より	131人
3月4日	茶わ会（田町・前田、八塩地区）	中止
毎月	助け合い隊便りの発行配布	

ii) 佐久山おもいやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成23年2月8日
自治会数	17自治会
見守り利用者数	161人
隊員数	115人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月28日	推進会議（活動報告、活動計画）	67人
6月25日	第1回隊長会議（隊員研修、茶話会、会食会、助成金交付）	33人
7月25日	隊員視察研修（土浦市社会福祉協議会）	22人
8月1日	茶話会（福原地区）	42人
8月21日	会食会	71人
10月29日	第2回隊長会議（買い物ツアー、文化祭バザー）	26人
11月17日	佐久山産業文化祭参加（バザーほか）	—
11月28日	買い物ツアー	32人
12月11日	地域包括ケア会議、民生委員との情報交換会	13人
3月26日	新旧隊長会議	42人

iii) 紫塚地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り利用者数	103人
隊員数	79人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月26日	新旧隊長会議（活動報告、活動計画）	18人
5月27日	推進会議（活動報告、活動計画、グループワーク）	48人
6月16日	支え合いマップづくり(成田町)	20人
6月21日	支え合いマップづくり(紫塚ニュータウン)	14人
7月 1日	会食会	86人
9月14日	ふれあい紫広場展示	—
10月 6日	西地区文化祭展示 (西地区あったか思いやりの会と合同)	—
12月12日	隊員研修会（救急法講習）一般自治会員も参加	18人
3月18日	隊長会議(活動報告・活動計画他)会議資料を送付	中止

iv) ちかその思いやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	10自治会
見守り利用者数	130人
隊員数	134人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 5日	推進会議（活動報告、活動計画）	78人
5月16日	第1回 隊長会議	25人
5月21日	認知症サポーター養成講座	38人
5月28日	認知症によるひとり歩き者への声掛け訓練	33人
6月11日	会食会	55人
7月 3日	民生委員との見守り情報交換会	15人
7月10日 ～25日	民生委員との情報交換会による見守り活動候補者への家庭訪問	33人
9月 4日	第2回 隊長会議	25人
10月27日	親園地区文化祭（バザー、売店の出店）	14人
12月 6日	民生委員との情報交換会	16人
2月13日	チーム会議	6人
2月19日	第3回 隊長会議（見守り活動の状況等について）	21人
3月30日	新旧隊長会議（隊長引継ぎ等）	26人

v) 西部地区あったか思いやりの会

会の概要

発足式年月日	平成25年2月4日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	183人
会員数	123人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月19日	第1回チーム会議	9人
5月10日	第1回地区会長会議（活動計画）	8人
5月10日	推進会議	73人
8月21日	茶話会（加治屋地区）	43人
8月29日	茶話会（浅野地区）	27人
10月 6日	西地区文化祭展示（紫塚地区見守り隊と合同）	—
10月27日	西部地区社協あったか広場（握力測定等実施）	—
11月22日	茶話会（西原地区）	25人
11月28日	茶話会（赤堀東地区）	37人
12月15日	茶話会（原町地区）	40人
2月15日	茶話会（赤堀西地区）	30人
2月27日	第2回チーム会議	7人
3月11日	第2回地区会長会議	12人

vi) 須賀川地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	109人
隊員数	100人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月 9日	推進会議	44人
8月 1日	移動販売チラシ配布（A4両面カラー 全戸）	—
10月 8日	見守り隊・地区社協合同買い物ツアー （市庁舎・ベイシア那須塩原店・千本松牧場）	41人

11月9日	やみぞあづまっぺ協議会秋の収穫祭 募金・PR活動	—
11月20日	見守り隊・協議体視察研修 (鹿沼方面 無量荘・和久井亭)	11人
12月8日	須賀川新そば祭り 募金・PR活動	—
3月16日	隊長会議 (新型コロナウイルス感染予防のため中止)	—

vii) ゆづかみ見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	109人
隊員数	239人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月19日	地区説明会 (佐良土3地区)	22人
4月22日	第1回チーム会議	5人
5月14日	第1回隊長会議 (隊員証・委嘱状交付)	27人
5月26日	佐良土3地区合同茶話会	36人
6月19日	ふれあいお楽しみ会 (地区社協と共催)	75人
6月23日	狭原・小船渡合同茶話会	29人
7月12日	第2回隊長会議	19人
8月30日	中学生高齢者訪問活動支援 (26班) 荒天中止	
10月4日	湯津上3地区「湯津上 (上)・(下)・中の原」合同茶話会	59人
10月27日	狭原・小船渡合同茶話会	24人
10月27日	天狗王国まつり (ゆづかみ見守り隊 PR)	
12月1日	ゆうあい広場 (啓発活動)	役員12人
3月13日	第3回隊長会議 (中止)	
3月31日	見守り隊便り発行 (全世帯)	

viii) 東部地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	26自治会
見守り利用者数	120人
隊員数	553人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月21日	富士見ハイツ見守り事業説明会	21人
5月28日	第1回隊長会議（事業報告、事業計画、見守り事業並びに生活支援体制整備事業の推進等）	34人
7月 4日	推進会議（委嘱状の交付、活動費の支給等）、地域資源調査会議（地域人材の掘り起こし）	80人
7月31日	第1回子どもの見守り関係会議	14人
8月28日	第2回子どもの見守り関係会議	14人
8月29日	認知症サポーター養成講座	54人
9月25日	第2回隊長会議（見守り活動状況、生活支援体制整備事業の推進等）	34人
10月14日	東部地区ふれあいひろば（啓発活動、握力測定）	—
2月20日	第3回隊長会議（次年度事業計画案、見守り事業の推進、生活支援実態調査結果等）	42人

ix) 両郷地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年6月25日
自治会数	12自治会（9地区隊）
見守り利用者数	118人
隊員数	178人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
7月30日	見守り隊隊員研修（大田原市消費者生活センター長等の講習会）	37人
11月 4日	ひとり暮らし高齢者と高齢者世帯との会食会	51人
5月~2月	居場所設置（全9回）	延べ120人

x) 川西地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年11月19日
自治会数	15自治会（18地区隊）
見守り利用者数	125人
隊員数	254人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 6日	上町地区 安心生活見守り事業 生活支援体制整備事業説明会	17人
4月 7日	桧木沢地区 安心生活見守り事業 生活支援体制整備事業説明会	22人
4月10日	移動カフェ (大豆田地区カフェ)	17人
4月13日	余瀬地区 安心生活見守り事業 生活支援体制整備事業説明会	14人
4月15日	下町1区地区 安心生活見守り事業 生活支援体制整備事業説明会	15人
4月26日	おやまだいおひさまカフェ	22人
4月26日	隊長会議	30人
5月18日	移動カフェ (桧木沢サイプレス地区カフェ)	17人
5月24日	おやまだいおひさまカフェ	45人
6月 4日	移動カフェ (介護予防たんぽぽ会)	28人
6月 8日	推進会議・研修会	54人
6月12日	移動カフェ (大豆田地区カフェ)	13人
6月23日	おやまだいおひさまカフェ (市消防団消防操法競技会)	—
6月28日	おやまだいおひさまカフェ	23人
7月20日	移動カフェ (桧木沢サイプレス地区カフェ)	19人
7月26日	おやまだいおひさまカフェ	32人
7月26日	おやまだい未来カフェ (地区社協理事会)	14人
8月 6日	移動カフェ (介護予防たんぽぽ会)	25人
8月23日	おやまだいおひさまカフェ	29人
8月23日	おやまだい未来カフェ (住民対象)	4人
8月24日	移動カフェ (寒井地区カフェ)	21人
9月13日	移動カフェ (上町地区PPKKの会)	16人
9月21日	移動カフェ (桧木沢サイプレス地区カフェ)	13人
9月27日	おやまだいおひさまカフェ	29人
9月27日	おやまだい未来カフェ (認知症サポーター養成講座)	14人
10月 9日	移動カフェ (大豆田地区カフェ)	10人
10月11日	移動カフェ (上町地区PPKKの会)	21人
10月14日	エルム福祉会感謝祭 (PR・自主財源確保)	—

10月22日	移動カフェ（桧木沢地区カフェ）	13人
10月25日	おやまだいおひさまカフェ	14人
10月29日	上町地区カフェ（認知症サポーター養成講座）	15人
11月4日	おやまだいおひさまカフェ	41人
11月15日	移動カフェ（築地カフェ）	12人
11月15日	移動カフェ（上町地区 PPKK の会）	19人
11月16日	移動カフェ（桧木沢サイプレス地区カフェ）	12人
11月22日	おやまだいおひさまカフェ	32人
11月22日	おやまだい未来カフェ（住民対象）	11人
11月23日	くろばね矯正展（PR・自主財源確保）	—
11月25日	移動カフェ（築地カフェ）	10人
12月4日	移動カフェ（大豆田地区カフェ）	14人
12月5日	移動カフェ（築地カフェ）	7人
12月13日	移動カフェ（上町地区 PPKK の会）	37人
12月20日	おやまだいおひさまカフェ	31人
12月20日	おやまだい未来カフェ（住民対象）	7人
12月25日	移動カフェ（築地カフェ）	16人
1月10日	移動カフェ（上町地区 PPKK の会）	21人
1月15日	移動カフェ（築地カフェ）	13人
1月18日	移動カフェ（桧木沢サイプレス地区カフェ）	7人
1月24日	おやまだいおひさまカフェ	38人
1月24日	おやまだい未来カフェ（住民対象）	4人
1月26日	黒羽大花市（PR・自主財源確保）	—
2月5日	移動カフェ（大豆田地区カフェ）	15人
2月5日	移動カフェ（築地カフェ）	9人
2月9日	蜂巢地区カフェ（地区隊見守り会議）	16人
2月12日	移動カフェ（桧木沢地区カフェ）	11人
2月14日	移動カフェ（上町地区 PPKK の会）	21人
2月15日	移動カフェ（余瀬地区カフェ）	13人
2月21日	移動カフェ（上町地区 PPKK の会）	21人
2月25日	移動カフェ（築地カフェ）	22人
2月28日	おやまだいおひさまカフェ	17人
2月28日	おやまだい未来カフェ（住民対象）	2人
3月5日	移動カフェ（築地カフェ）	11人

3月13日	移動カフェ（上町地区 PPKK の会）	19人
3月21日	移動カフェ（桜木沢サイプレス地区カフェ）	9人
3月27日	おやまだいおひさまカフェ	10人
3月27日	おやまだい未来カフェ（住民対象）	7人
3月29日	上町地区訪問調査	—
毎月	川西地区見守り隊便り 第36号～第47号 （隊員 254 部、利用者 132 部、回覧 185 部） （関係機関、その他 33 部）	—

xi) 金田地区おもいやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年11月28日
自治会数	26自治会（32地区隊）
見守り利用者数	158人
隊員数	354人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月24日	新旧隊長会議	55人
5月21日	推進会議（委嘱状の交付、活動計画等）	69人
7月26日	認知症サポーター養成講座（金田北地区）	48人
8月26日	研修会（協議体合同研修会）	77人
10月21日	認知症サポーター養成講座（金田南地区）	27人
11月9日	金田地区文化祭（募金、PR活動）	63人
3月17日	第3回隊長会議（中止）	—

xii) 野崎地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成27年2月19日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	112人
隊員数	245人

令和元年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
3月～5月	見守り活動事前説明会（各地区毎に開催）	計200人

4月 6日	のざき桜祭り (PR 活動)	183人
5月 9日	第1回チーム隊長会議	19人
5月23日	推進会議	98人
7月24日	第2回チーム隊長会議	19人
10月27日	野崎地区文化祭 (PR 活動)	320人
11月 1日	認知症サポーター養成講座	26人
11月10日	認知症によるひとり歩き者への声かけ訓練	23人
11月28日	第3回チーム隊長会議 (事業報告、他)	18人
1月30日	第4回チーム隊長会議 (新年度事業計画、他)	18人
3月15日	見守り活動事前説明会 (野崎 NT 地区)	18人
3月26日	第5回チーム隊長会議中止	—
3月28日	見守り活動事前説明会 (中薄葉・平沢地区)	8人
3月29日	見守り活動事前説明会 (上薄葉地区)	10人
4月～3月	居場所活動 (野崎 NT・上薄葉・薄葉団地)	計727人

② 安心生活見守り事業関連の視察受け入れ一覧

月日	依頼者	参加人数	内容
6月18日	宇都宮市中央区地区民協	15人	安心生活見守り事業について (川西地区見守り隊)
8月29日	茨城県南相馬市民生委員児童委員連絡協議会	21人	安心生活見守り事業について (佐久山思いやり隊)
合 計		36人	2回

③ 安心生活見守り事業 会議等

月 日	内 容	会 場
2月10日	安心生活見守り事業推進会議	大田原市庁舎

○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布している「救急医療情報キット」に関し、市社協では、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行ないました。

令和元年度配布本数 29本（本所のみ）本所累計 1,434本

2 生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）

市からの受託事業である「ささえ愛おたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）」として、第2層コーディネーターの配置と支え合いの地域づくりを進める協議体の取り組みを行っています。

安心生活見守り事業の地区担当主任が第2層生活支援コーディネーターとして委嘱され、12地区ごとに第2層協議体を設置し、運営の支援を行っています。令和元年度は、地域資源の把握や地域課題の洗い出し等を行ない、安心生活見守り事業の活動や地区社協などの、多様な主体と連携できるよう、地域の実情に合わせた話し合いを進めています。

○各地区の状況

①東部地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
4月4日	子どもの見守り活動、ささえ愛サロン事業に伴う協議体の対応について	13人
5月15日	3事業の一体化、地区社協の組織改編、地域資源調査会議について	13人
9月5日	隊長会議資料検討、地域人材の居住地調査	18人
12月12日	人材バンク冊子・地域資源マップについて	20人

②西部地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
5月14日	居場所づくりの検討	12人
8月7日	小地域福祉活動計画について	13人
11月19日	小地域福祉活動計画について	12人
3月1日	小地域福祉活動計画策定委員について	12人

③紫塚地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
5月17日	アンケートと小地域福祉活動計画について	19人
8月30日*	アンケートと支え合いマップ作りについて	27人
11月15日*	運営要綱改正について	16人
2月21日*	協議体が紫塚地区社会福祉協議会のもとで活動することが承認され、運営要綱の改正をする	23人

*：小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催

④金田地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
6月18日	地域の課題について	33人
8月26日	おもいやり隊合同研修会 講演「誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるために」	77人
11月21日	台風19号被害状況から見えてきた地域の課題	20人
2月18日	地域課題の洗い出し・小地域福祉活動計画策定について	22人

⑤親園地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
7月26日	地域の課題、地域資源・人材調査結果	18人
9月17日*	課題の洗い出し・目指す地域像	29人
10月15日*	課題の分析	23人
11月12日*	課題解決のためのアイデア出し	24人
11月20日*	先進地視察研修（野崎地区第2層協議体と合同） 群馬県高崎市	20人
12月10日*	小地域福祉活動計画の原案検討	26人
12月17日	地域資源の利用について	16人
3月12日	地域資源の利用について	14人

*：小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催

⑥野崎地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
5月9日	地域の課題及びその解決に向けた方法の絞り込み	23人
7月24日	新たに地区社協メンバー加え、更なる課題の抽出	25人
7月27日	野崎デマンド交通説明会（外出支援活動の一環）	39人
9月3日	新たな地域の課題に関する話し合い実施	27人
11月20日	先進地視察研修（群馬県高崎市）	20人
11月28日	野崎地区として最初に取り組む課題の話し合い	18人
1月15日	取り組み目標及び具体的目標の明確化	21人
1月30日	取り組み目標の決定	21人

⑦佐久山地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
6月12日	協議体役割の具現化	20人
9月13日	高齢者外出支援サービス視察 千葉県九十九里町	7人
9月11日	新たな課題の洗い出し及びマッチング	19人
12月14日	外出支援の取り組み方、中学校跡地の活用	20人
1月23日	目指す地域像	35人

⑧湯津上地区協議体

月 日	内 容	参加人数
8月20日	令和元年度事業報告・おしゃべりカフェ「ごくらく」開催状況・地域資源調査（自治会、自治公民館）	13人

	確認・災害避難所一覧確認・役員改選・知恵袋バンクの作成協議	
10月15日	移動販売場所、曜日の変更確認・知恵袋バンク作成	11人
12月4日	知恵袋バンク作成協議	12人
1月28日	知恵袋バンク作成協議 登録者の承諾書受領者割付	14人

⑨黒羽地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
1月22日	小地域福祉活動計画について	16人

⑩川西地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
6月28日	情報交換会	12人
10月25日	勉強会	16人

⑪両郷地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
5月15日	居場所の設置について	10人
8月26日	居場所名称、委員の選任	9人
11月18日	居場所、デマンドバスについて	9人
2月17日	居場所、施設の買い物、生活支援	10人

⑫須賀川地区協議体

月 日	主 な 内 容	参加人数
6月14日	目指す地域像・課題・移動販売	14人
8月 1日	移動販売チラシ配布（A4両面カラー 全戸）	—
8月28日	買い物ツアーについて	12人
10月 8日	見守り隊との合同買い物ツアー	41人
11月20日	見守り隊・協議体視察研修（鹿沼方面 無量荘・和久井亭）	11人
3月16日	新型コロナウイルス感染予防のため中止	—

3 地域福祉活動計画の推進

(1) 第3次地域福祉活動計画推進事業

第2次計画推進のこれまでの経過と提言を受け、平成30年度にまとめ策定された第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和元（2019）年度～令和5（2023）年度）の推進

に取り組みました。

地域福祉の理念や仕組みをつくるための行政が策定する地域福祉計画と、地域福祉を実行するための住民の活動のあり方、住民、施設・団体、市社協、行政それぞれの役割を示した本協議会が中心となり策定した民間の計画地域福祉活動計画の2つを1つにまとめ、共に取り組んでいるものです。

令和元年度は、次のとおり推進会議を開催しました。

地域福祉計画・地域福祉活動計画第1回推進委員会

日 時：令和2年2月3日（月）午前10時～12時

場 所：大田原市福祉センター研修室

内 容：

- (1) 委員長・副委員長の選任、これまでの計画の策定経過と第3次計画、推進委員会の役割、今後のスケジュールについて協議
- (2) 講話「地域共生社会と計画推進～小地域福祉活動を主体的に～」

講師 アドバイザー

国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科教授 林 和美氏

講話では、アドバイザーの林先生より、これからの地域福祉活動、地域共生社会に向けた国の動き、住民が主体となり進める「地域福祉活動計画」、推進委員会の機能役割等について確認しました。

4 小地域福祉活動

(1) 小地域福祉活動計画推進研修会の開催

令和元年度に、小地域福祉活動計画に取り組む市内12地区社協のリーダーが、これからの地域福祉の方向性を見据えながら、将来に向けた目指す地域を創るため、主体的に地域福祉活動を進める意欲を高めることを目標に、研修会を行ないました。

日 時：7月12日（金） 午後1時30分～3時45分

場 所：大田原市西地区公民館 2階 会議室

参加者：66名（地域：42名 職員：24名）

内 容：・平成30年度策定地区より「計画策定の取り組み報告」

東部地区社会福祉協議会事務局 人見 英一 氏

佐久山地区社会福祉協議会事務局 中津 昭一 氏

湯津上地区社会福祉協議会事務局 天沼 明美 氏

・講話「住民がつくる住民のための福祉のまちづくり計画」

- 講師：国際医療福祉大学 林 和美 教授
 ・地区ごとの話し合い

(2) 小地域福祉活動計画の策定

令和元年度紫塚地区、親園地区、野崎地区、黒羽地区、須賀川地区の5地区の社協において小地域福祉活動計画の策定に取り組みました。

①紫塚地区の取り組み

月 日	事 業 内 容	参加人数
6月3日	準備委員会：地区社協役員会にて説明	1人
7月8日	第1回策定委員会：委員長・副委員長の選出 設置要綱の承認	24人
8月30日*	第2回策定委員会：目指す地域像候補(46件)の説明	23人
10月4日	第3回策定委員会：地域課題(172件)の目標別 グルーピング作業(グループワーク)	21人
11月15日*	第4回策定委員会：目指す地域像の決定 取り組み目標を「仕組みづくり」「人づくり」「機会づくり」に決定	16人
12月20日	第5回策定委員会：「仕組みづくり」「人づくり」「機会づくり」の各々で、具体目標を検討(グループワーク)	16人
1月17日	第6回策定委員会：小地域福祉活動計画書の案を審議	23人
2月21日*	第7回策定委員会：最終まとめ	23人

*協議体会議と合同開催

②親園地区の取り組み

月 日	事 業 内 容	参加人数
5月8日	小地域福祉活動計画についての説明	5人
6月11日	準備委員会：小地域福祉活動計画策定方法について策定委員の選定	5人
7月16日	第1回策定委員会：策定委員会の設置、委員長・副委員長選出、策定の進め方・スケジュール、地域の課題	19人
9月17日	第2回策定委員会：地域課題の洗い出し	29人
10月15日	第3回策定委員会：目指す地域像・課題の分析	23人
11月12日	第4回策定委員会：具体的な取り組み検討	24人
12月10日	第5回策定委員会：最終原案の検討	26人

③野崎地区の取り組み

月 日	事 業 内 容	参加人数
4月12日	地区社協総会：小地域福祉活動計画について説明	65人

7月24日	第1回策定委員会：地域の課題抽出	25人
9月3日	第2回策定委員会：目指す地域像に関し話し合い	27人
11月20日	第3回策定委員会：取り組む課題の抽出 - ①	20人
11月28日	第4回策定委員会：取り組む課題の抽出 - ②	18人
1月15日	第5回策定委員会：目標・具体的目標の明確化	21人
1月30日	第6回策定委員会：小地域福祉活動計画書完成	21人

④黒羽地区の取り組み

月 日	事業内容	参加人数
4月24日	地区社協理事会：小地域福祉活動計画について説明	20人
5月13日	地区社協総会：小地域福祉活動計画について説明	40人
6月13日	第1回策定委員会：委員会の設置、正副委員長の選出他	14人
7月18日	第2回策定委員会：内容・課題の洗い出し	14人
8月22日	第3回策定委員会：目標の検討	15人
9月26日	第4回策定委員会：具体的な取り組み検討	14人
11月12日	第5回策定委員会：計画書の原案策定	14人
1月22日	第6回策定委員会：印刷・周知に向けて	14人

⑤須賀川地区の取り組み

月 日	事業内容	参加人数
4月26日	地区社協総会：小地域福祉活動計画の説明	30人
6月7日	小地域策定準備委員会：委員会の設置、役員選出	16人
7月10日	第1回策定委員会：目指す地域像、目標設定	14人
7月30日	第2回策定委員会：目標の設定・具体的な取り組み検討	14人
8月28日	第3回策定委員会：目標の設定・具体的な取り組み検討	16人
10月4日	第4回策定委員会：計画の内容確認・計画書のまとめ	20人
11月26日	第5回策定委員会：計画書の原案検討・決定	20人
12月13日	原案検討後の最終確認：文書にて	—

(3) 福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により172名が活動を行ないました。

小地域福祉ネットワーク活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、見守り対象者を把握し、高齢者等に対する見守り活動や地区社協の食事サービス活動支援等を行ないました。

① 福祉委員活動の地区ごとの代表者を決め連絡網を作りました。

② 新任福祉委員研修会の開催

令和元年から新しく福祉委員となった方が、役割を理解し、活動の一步を踏み出せるよう後押しをすることを目的に研修会を開催しました。

日 時：4月25日（木）午後1時30分～3時

場 所：大田原西地区公民館2階会議室

参加者：22名

内 容：・「福祉委員の活動について」

・体験談「私の福祉委員活動」 渡辺 千代子 氏、藤田 カツノ 氏

・地区ごとの話し合い

・福祉委員連絡網について

③ 民生委員・児童委員、福祉委員連絡協議会の開催

小地域福祉活動の推進役である福祉委員の理解促進を図るとともに、身近な相談役である民生委員・児童委員とのつながりづくりを目的に開催しました。

	地 区	月 日	場 所
1	湯津上	5月15日（水）	市湯津上庁舎
2	大田原西部・紫塚・野崎	6月19日（水）	大田原西地区公民館
3	金田・親園・佐久山	6月20日（木）	大田原西地区公民館
4	大田原東部	6月21日（金）	大田原東地区公民館
5	黒羽・川西・両郷・須賀川	6月27日（木）	黒羽・川西地区公民館

○テーマ： 「地域共生社会を目指して～ささえ愛おたわら～」

○説明： 「福祉委員活動について」、「地域福祉について」

○ワークショップ： 「認知症にやさしい地域を考えよう」

(4) 地区社会福祉協議会活動支援事業

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会員一人当たり250円の活動助成金を交付しました。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりでした。

① 活動助成の内容

地区社会福祉協議会(団体名)	助成額	活動内容
大田原東部地区社会福祉協議会	530,250円	東部地区小地域福祉活動計画の推進 ふれあい広場、食事サービス(月1回) 「東部社協だより」の発行
大田原西部地区社会福祉協議会	639,250円	あったか広場、食事サービス(月4回) 「あったかだより」の発行 等
紫塚地区社会福祉協議会	280,000円	紫塚地区小地域福祉活動計画の策定、ふれあい紫広場、食事サービス(月4回)、視察研修、「むらさきづか社協だより」の発行 等
金田地区社会福祉協議会	699,750円	食事サービス(月2回)、研修会 等
親園地区社会福祉協議会	213,000円	親園地区小地域福祉活動計画の策定 食事サービス(月2回)、「親園福祉だより」の発行
野崎地区社会福祉協議会	424,775円	野崎地区小地域福祉活動計画の策定 ふくしのまち野崎文化祭、食事サービス(月4回) 「ふくしのまち野崎」の発行 等
佐久山地区社会福祉協議会	164,000円	佐久山地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス(月3回)、視察研修 佐久山地区外出支援事業
湯津上地区社会福祉協議会	247,250円	湯津上地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス(月1回)、世代間交流事業(縄よじり豊年棒づくり) 地区社協だより「ゆうあい」の発行、ふれあい友愛広場
黒羽地区社会福祉協議会	245,250円	黒羽地区小地域福祉活動計画の策定 食事サービス(年11回)、ふれあいサロン(ひとり暮らし高齢者会食会-川西地区社協と合同) 「黒羽地区社協だより」の発行 等
川西地区社会福祉協議会	289,500円	食事サービス(年6回)ふれあいサロン(ひとり暮らし高齢者会食会-黒羽地区社協と合同) 「川西地区社協だより」の発行、ふれあい敬老会の支援
両郷地区社会福祉協議会	129,750円	学校安全パトロール、食事サービス(年11回) 地区社協だより発行、会食会等
須賀川地区社会福祉協議会	117,750円	須賀川地区小地域福祉活動計画の策定 食事サービス(年8回)、会食会、視察研修等
合計	3,980,525円	

② 食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行ないました。配布活動は見守り活動(訪問安否確認)も兼ねています。

地区社協（団体名）	令和元年度 食事数	実施回数	対象者数	前年度 食事数
大田原東部地区社会福祉協議会	669食	11回	66人	810食
大田原西部地区社会福祉協議会	2,175食	44回	63人	2,230食
紫塚地区社会福祉協議会	2,130食	33回	74人	2,301食
金田地区社会福祉協議会	616食	22回	31人	709食
親園地区社会福祉協議会	250食	22回	13人	232食
野崎地区社会福祉協議会	482食	44回	14人	694食
佐久山地区社会福祉協議会	908食	30回	43人	1,038食
湯津上地区社会福祉協議会	487食	11回	66人	537食
黒羽地区社会福祉協議会	600食	9回	75人	708食
川西地区社会福祉協議会	437食	5回	92人	473食
両郷地区社会福祉協議会	366食	9回	47人	410食
須賀川地区社会福祉協議会	198食	8回	58人	215食
市ボランティア連絡協議会 （黒羽支部）	562食	4回	283人	559食
合計	9,880食	252回	925人	10,916食

（助成総額 3,952,000円：共同募金配分）

令和2年3月は休止（新型コロナウイルス感染症予防のため）

（5）友愛訪問活動への支援

地域のひとり暮らしや寝たきりの高齢者等の孤立を防止し、社会参加を促進することをねらいに、いきいきクラブが取り組んでいる、友愛訪問活動に助成を行ないました。

（大田原市いきいきクラブに50,000円助成）

5 ボランティア活動の推進

（1）ボランティアセンター事業

① 中高生が考える福祉のまちづくりIN大田原

平成22年度より「中高生が考える福祉のまちづくりIN大田原」を開催してきました。

- ・実施日：令和元年8月20日（火）午後1時30分～4時30分
- ・場 所：トコトコ大田原3F市民交流センター大会議室
- ・参加者：31名（中学生12名、高校生14名、大学生5名）
 - ：実行委員8名 大石 剛史 氏、大高 久尚 氏、
 - 鏑木 哉文 氏（車いす当事者）、河野 楯夫 氏、
 - 鈴木 庸一 氏（車いす当事者）、
 - 蜂須賀 瑚羽 氏（LGBT当事者）、星 雅人 氏

誰も仲間外れにしない「多様性」の社会の形成には、受け止め、認め合う力（受容性）が必要となります。障がいの有無に関わらず、一人ひとりの違いを個性としてとらえ、尊重し認め合うことが大切だと気づいてもらうことを目的に開催しました。

② 災害ボランティア講座

台風19号被害に係る災害対応により、中止となりました。

③市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動（与一まつりしあわせ広場、手作り弁当の配布等）への連携・協力を行ないました。

④ ボランティア活動保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入者数
Aプラン	350円	1,040万円	4,456人	4,591人
Bプラン	510円	1,400万円	182人	179人
天災Aプラン	500円	1,040万円	15人	12人
天災Bプラン	710円	1,400万円	36人	41人
計			4,689人	4,823人

⑤ ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行ないました。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行ないました。

区分	団体登録		個人登録	ボランティア 相談	ボランティア コーディネート
	団体数	登録者数			
令和元年度	143 団体	3,612 名	31 名	25 件	17 件

⑥ ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めました。

品 目	延べ利用件数	品 目	延べ利用件数
車いす	16 台	マイク・スピーカー	4 回
アイマスク	0 枚	電源コード・ドラム	1 回
点字盤	0 台	プロジェクター	0 回
テント	1 回	調理器具	15 回
高齢者擬似体験用具	3 台	その他	8 回

(2) 災害にも強い地域づくり事業の推進

①令和元年度 台風19号災害ボランティア活動

10月12日、東日本を中心に被害をもたらした台風19号により被災した方々の支援を行ないました。

なお、大田原市の被災が一部の地区に限定され、被災規模も考慮し災害ボランティアセンターは設置せず、市社協ボランティアセンターで、災害支援を行ないました。

1) 大田原市内の被災者支援（令和元年10月15日～10月20日）

川西地区で床上浸水等により被災された世帯（9世帯）のうち、支援してほしいというニーズがあった世帯に対し、市社協ボランティアセンターからボランティアを紹介し、被災した家から家財道具や畳、被災ゴミの運びだし及び分別、クリーンセンターへのゴミの搬入などの支援を行ないました。

活動期日	10/15(火)	10/16(水)	10/17(木)	10/18(金)～19(土)	10/20(日)	計
ボランティア のべ人数	23	12	16	雨天のため 中止	11	62
住民からの ニーズ数	5	1	1		0	7
対応活動 のべ件数	5	5	4		3	17

対応職員 のべ人数	6	5	4		5	20
--------------	---	---	---	--	---	----

※上記のボランティア数は、ボランティアセンターを通じて活動した数です。自治会、見守り隊などから直接支援したボランティア数は含まれていません。

2) 復興支援バスの運行

県内で大きな被害があった佐野市にボランティアバスを運行し、災害復興支援のためのボランティア活動（泥だし、がれきの運搬など）を行ないました。

活動期日	11/15(金)	11/19(火)
参加ボランティア人数	20	26
同行職員数	3	3

3) 県内災害ボランティアセンター運営支援

県内で災害ボランティアセンターを設置した市社協に対して、職員を派遣し、災害ボランティアセンター運営を支援しました。

派遣期間	派遣先	派遣職員数
10/23(水)、10/24(木)	宇都宮市社会福祉協議会	1
10/30(水)～11/1(金)	宇都宮市社会福祉協議会	1
11/1(金)～11/3(日)	宇都宮市社会福祉協議会	1
11/3(日)～11/5(火)	宇都宮市社会福祉協議会	1
11/9(土)～11/11(月)	宇都宮市社会福祉協議会	1
11/27(水)～11/29(金)	佐野市社会福祉協議会	1

6 福祉教育（ふくし共育）推進事業

(1) 福祉教育（ふくし共育）推進事業

福祉とは「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせのためのもの」であり、自分を含めたみんなにかかわることである。子どもから高齢の方まで、助け合いながら地域でつながりをもって暮らしていけるように、ともに生きる地域を創っていくことを目指し福祉教育（ふくし共育）を推進しました。

① 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

平成29年度に第6回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（579部）、4年生（609部）、及び中学1年生（572部）を対象に配付し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めました。

② 学校等の福祉教育（ふくし共育）への支援

児童・生徒が、地域の福祉課題を地域の方と一緒に解決するプロセスから共に学び、共に生きる地域づくりを推進するため、「学校と地域がつながる福祉教育プログラム」への取り組みを支援しました。

小・中学校等での福祉教育の現場へ、地区社会福祉協議会、地区見守り隊（会）をはじめ、障がい当事者や、ふくし共育ボランティアグループささえとともに社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援しました。

また、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行ないました。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行ないました。その他児童・生徒の相談に応じました。

○学校等への福祉教育支援状況一覧

	実施日	学校等	対象	参加者数	協力人数	内容
1	5月14日	佐久山小 福原小	4年	16	5	②認知症にやさしい地域を考えよう
2	6月12日	奥沢小	5年	12	3	④地域で活動する方のお話を聞こう
3	6月25日	石上小	4年	14	2	⑤障がい当事者と学ぼう
4	6月28日	親園中①	3年	52	7	福祉講話
5	7月4日	両郷中央小	4年	8	2	②認知症にやさしい地域を考えよう
6	7月4日	宇田川小	4年	16	2	⑤障がい当事者と学ぼう
7	7月8日	川西小	4年	27	3	③障がい当事者と学ぼう
8	7月9日	親園中②	3年	52	7	②認知症にやさしい地域を考えよう
9	7月11日	黒羽小①	4年	19	3	③障がい当事者と学ぼう
10	7月16日	佐良土小	4年	6	2	②認知症にやさしい地域を考えよう
11	8月29日	黒羽小②	5年	20	4	④地域で活動する方のお話を聞こう
12	8月30日	薄葉小①	4年	54	11	②認知症にやさしい地域を考えよう
13	9月5日	金田南中	3年	24	1	③障がい当事者と学ぼう
14	9月19日	薄葉小②	4年	54	4	③障がい当事者と学ぼう
15	9月26日	蛭田小	4年	13	1	③障がい当事者と学ぼう
16	9月29日	湯津上小	1/2年	10	2	①災害と助け合い
17	9月30日	親園中③	3年	52	0	福祉講話
18	10月24日	西原小①	4年	138	3	障がい当事者の紹介・調整
19	10月28日	市野沢小	4/5/6年	189	1	③障がい当事者と学ぼう
20	11月7日	福原小②	4年	3	18	⑥茶話会

21	11月8日	西原小②	4年	138	8	③障がい当事者と学ぼう
22	11月27日	親園小	4年	24	1	③障がい当事者と学ぼう
合 計				941	90	

③ 福祉教育研修会の開催

台風19号被害に係る災害対応により、中止となりました。

(2) 広報充実事業

① 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」の裏面から2ページ分をボランティア情報紙「だいすき」として併せて発行しました。

各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の仕事内容の紹介、及び地域のみなさんに考えていただく地域の課題等の周知等、紙面の充実に努めました。(年6回市内全戸配布)

また「おおたわらこども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみがもてるよう、また、地域のつながりの大切さを学び、気づきのきっかけになるような紙面を心掛け、児童・生徒に配布しました。

(3月に小中学校に配布)

② ホームページによる広報活動

インターネット・ホームページ(URL: www.ohtawara-shakyo.or.jp/)により、本会の活動状況、イベントの開催、サービス内容等を広報しています。

(3) 社会福祉士養成課程実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程の国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科実習生4名を、本実習として8月5日～9月11日、次年度の本実習に向けた事前学習として、国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉マネジメント学科実習生6名、東北福祉大学社会福祉学科実習生2名を、3月12日に受け入れました。実習生を適切に受け入れ指導やアドバイスをすることで社協職員のOJT¹等資質の向上や社協の評価にもつながりました。

¹ OJT : On-the-Job Training (オン・ザ・ジョブ・トレーニング) または現任訓練 (げんにんくんれん) とは、職場で実務をさせることで行う従業員の職業教育のこと。

Ⅱ 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1 総合相談事業の実施

(1) 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を大田原市から受託し、経済的かつ社会的孤立の問題を抱える生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れるよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組みました。

○相談件数（※令和元年度に新たに受け付けた件数です。）

No.	相談内容	件数	No.	相談内容	件数
1	病気や健康、障がいのこと	5件	9	地域との関係について	0件
2	住まいのこと	7件	10	家族関係・人間関係	0件
3	収入・生活費のこと	32件	11	子育て・介護のこと	0件
4	家賃やローンのこと	2件	12	ひきこもり・不登校	1件
5	税金や公共料金のこと	2件	13	DV・虐待	1件
6	債務について	5件	14	食べる物が無い	1件
7	仕事探し、就職について	4件	15	その他	3件
8	仕事上の不安やトラブル	2件		計	65件

○支援実施延べ回数※令和2年1月末現在

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	314回
2	訪問同行・支援	49回
3	面談	195回
4	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	2回
5	他機関との電話照会・協議	22回
6	その他	8回

(2) 心配ごと相談事業

大田原市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行ないました。市民の日常生活上の心配ごととの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、福祉センター及び社協各支所内に相談所を開設しました。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けました。

○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場所	回数
大田原	毎週金曜日	9:00～正午	市福祉センター	49回
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター	9回
黒羽	毎月第1・3木曜日	9:00～正午	社協黒羽支所	20回

○心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数19件）相談者14名

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	1	職業・生業・就職	0	家族	5	健康衛生	1	医療	1	人権-法律	2
年金	0	住宅	0	結婚	0	離婚	2	事故	0	財産	2
精神衛生	0	児童福祉	0	教育・青少年	0	心身障害	1	老人福祉	3	母子福祉	0
その他	1	苦情	0								

その他の相談件数 146件 社協窓口での相談件数（ボランティア、貸付、見守り関係を除く）

(3) 福祉金庫貸付事業

大田原市社会福祉協議会福祉金庫資金貸付事業実施要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っています。善意銀行の拠出金を原資に、1借受人あたり2万円または3万円を限度に12ヶ月無利子月賦償還する制度として実施しています。

○貸付・償還状況（令和元年度）

前年度末残高A		1,350,554円	・前年度償還未済額1,112,970円
令和元年度	貸付金額 B	968,000円	・新規貸出件数48件
	償還金額 C	934,000円	・償還完了件数32件
	不納欠損額D	0円	・不納欠損件数 0件
	預金利子 E	11円	・普通預金利子
	地域福祉事業へ振替 F	0円	
	残高 G	1,316,565円	年度繰越 (A-B+C+E-F)

相談件数 **114件**

※年度末貸付償還未済額は **1,146,970円**

(4) 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行ないま

した。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類です。低所得者世帯、失業者、障がい者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施しました。

○貸付・償還状況（令和元年度）

貸付	新規貸付 1件	緊急小口資金特例 台風19号
償還	償還中 47件	総合支援資金9件、福祉資金福祉費10件、福祉資金緊急小口資金11件、教育支援資金12件、離職者支援資金2件、臨時特例つなぎ資金3件
	償還完了 3件	福祉資金1件、修学資金1件、福祉資金福祉費1件
	償還免除 1件	
相談	47件	貸付に関する相談

※ 緊急小口資金貸付事業（特例）

大田原市社協を窓口として、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した世帯へ、緊急小口資金貸付の相談と申し込みの受付を継続しています。

(5) 墓地清掃サービス事業

墓の清掃やお参りが困難な方々のために、就労に向けて相談をしている方々が清掃を代行し行ないました。

利用者	回数	内容
高齢者（宮城県在住）	年2回	お盆前の清掃・彼岸前の清掃
高齢者（兵庫県在住）	年2回	お盆前の清掃・彼岸前の清掃
高齢者（黒羽在住）	年1回	春彼岸前の清掃
全件数	5回実施	

2 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

高齢者、障がい者等で判断能力が不十分な方の福祉サービス利用援助や金銭管理や書類預かり等を行う日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施しました。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めました。

○あすてらす利用状況

令和元年度状況	生活支援利用者数	備 考
年度当初	78名	
新規契約	18名	
解約（死亡・解約）	10名	死亡6名 施設管理3名
		自己管理1名
令和元年度末現在	86名	

- ・ 専門員 3人
- ・ 生活支援員 26人（社協職員7人含む）
（内訳：大田原12人、湯津上5人、黒羽9人）

・ 主な支援内容

福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス（預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）、相談

Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

1 介護保険サービス

(1) 訪問介護事業

介護保険の指定事業所として、要介護認定を受けた利用者にホームヘルパーを派遣し、入浴を含む身体介護や家事の支援を行う事業。また、市の介護予防日常生活支援総合事業の訪問型サービス事業を実施しました。

	元年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	18,780,407円	21,282,100円	88.25%
年間延べ利用者数	722.00人	771.00人	93.64%
月平均利用者数	60.10人	64.20人	93.61%
ホームヘルパー数	18.00人	18.00人	100.00%

(2) 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない高齢者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を大田原市から受託し、訪問介護事業を実施しました。

	元年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	4,000円	0円	-
年間延べ利用者数	1.00人	0.00人	-
月平均利用者数	0.08人	0.00人	-

2 障害福祉サービス

(1) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び大田原市地域生活支援事業を受託し、ホームヘルパーを派遣しました。

○障害福祉サービス（居宅介護）

	元年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	7,820,335円	8,403,388円	93.06%
年間延べ利用者数	285.00人	284.00人	100.35%
月平均利用者数	23.80人	23.00人	103.48%

○同行援護サービス

	元年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	672,806円	818,474円	82.20%
年間延べ利用者数	65.00人	71.00人	91.55%
月平均利用者数	5.40人	5.90人	91.53%

○移動支援

	元年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	321,362円	595,911円	53.93%
年間延べ利用者数	14.00人	22.00人	63.64%
月平均利用者数	1.10人	1.80人	61.11%

3 その他のサービス

(1) 日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、ギャッジベッド、車椅子などを無償貸与しました。

○品目別貸与状況

地区	貸出件数		保有台数	
	ベッド	車いす	ベッド	車いす
本所	47件	96件	22台	35台
湯津上支所	0件	4件	0台	4台
黒羽支所	31件	25件	21台	16台
計	78件	125件	43台	55台

(2) リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共交通機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸出を行ないました。

○リフト付き自動車貸出件数 74回（申請 88件）

(3) 軽トラック貸出事業

ボランティア活動・生活困窮者支援、その他地域福祉活動をする時に、物資輸送の援助として軽トラックの貸出を行ないました。

○軽トラック貸出件数 10件

(4) 福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図りました。また6名の委員による第三者委員会を設置しています。

(5) 大田原市介護支援ボランティアポイント制度

介護予防のためのボランティア活動「いきいき活動」を通じて、65歳以上の方の社会参加と介護予防の推進を図り、健康でいきいきとした地域社会づくりを推進することを目的に、大田原市介護保険制度の地域支援事業として市から事業を受託しました。

○与一いきいきメイト養成講座

期 間 7月10日～11月7日（8回）

受講者数 15名

○与一いきいきメイト登録者 102名

○いきいき活動受入施設 ほぼえみセンター等 25箇所

○与一いきいきメイトフォローアップ研修

日 時 7月18日 午後13時30分～16時00分

場 所 大田原東地区公民館

参加者 与一いきいきメイト 32名

内 容 講話 与一いきいき体操の効果と実践

講師 国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科 石坂 正大氏

○グループワーク 「いきいき活動に取り組んで」

日 時 7月31日 午後13時30分～16時00分

場 所 大田原東地区公民館

参加者 与一いきいきメイト 20名

- 内 容 講話 高齢者の栄養について
 講師 管理栄養士 内田 容子 氏
 講話 口腔ケアについて
 講師 歯科衛生士 船山 由利子 氏

IV 法人の基盤強化事業

1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

理事会

第1回理事会

- 1 開催日時：令和元年5月24日（金）午後1時30分～午後3時00分
- 2 会 場：大田原市福祉センター研修室

報 告

- 報告第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執状況
 報告について

議 案

- 議案第1号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第2号）に
 ついて
- 議案第2号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について
- 議案第3号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について

＝監査報告＝

- 議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
- 議案第5号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第1回評議員会の開催
 について

第2回理事会

- 1 開催日時：令和元年6月14日（金）午前9時30分～10時30分
- 2 会 場：大田原市福祉センター研修室

議案

- 議案第6号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長、副会長、常務理事の選任について
- 議案第7号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について

第3回理事会

- 1 開催日時：令和元年12月18日（水）午後1時30分～3時30分
- 2 会場：大田原市福祉センター研修室

報告

- 報告第2号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執行状況報告について

議案

- 議案第8号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第1号）について
- 議案第9号 令和元年度善意銀行払い出し配分について
- 議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について
- 議案第11号 大田原市地域福祉基金設置規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第13号 大田原市社会福祉協議会表彰要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第14号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第2回評議員会の開催について
- 議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員候補者の選任について
- 議案第16号 令和元年度第2回評議員選任解任委員会の開催について
- 議案第17号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉サービスにおける苦情解決に関する第三者委員の承認について

第4回理事会

- 1 開催日時：令和2年3月12日（木）午後3時00分～4時30分
- 2 大田原市福祉センター研修室

報 告

報告第3号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務所の移転について

議 案

議案第18号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款の制定について

議案第19号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について

議案第20号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について

議案第21号 令和2年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第22号 令和2年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第23号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の管理職手当の支給に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第24号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第25号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第26号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第3回評議員会の開催について

評議員会

第1回評議員会

- 1 開催日時：令和元年6月13日（木）午後3時30分～5時00分

2 会 場：大田原市福祉センター研修室

議 案

議案第 1 号 平成 3 0 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 2 号）について

議案第 2 号 平成 3 0 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第 3 号 平成 3 0 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について

＝監査報告＝

議案第 4 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について

第 2 回評議員会

議 案

議案第 5 号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）について

議案第 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について

議案第 7 号 大田原市地域福祉基金設置規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 9 号 大田原市社会福祉協議会表彰要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 1 0 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について

報 告

(1)災害被災者支援活動の取り組み状況について

(2)赤い羽根共同募金の中間報告について

(3)令和元年度大田原市社会福祉協議会会長感謝状贈呈について

(4)社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務所の移転について

(5)まちづくり人づくりシンポジウムの開催について

第3回評議員会

- 1 開催日時：令和2年3月24日（火）午後1時30分～3時00分
- 2 会場：大田原市福祉センター研修室

報 告

報告第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務所の移転について

議 案

議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款の制定について

議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について

議案第13号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について

議案第14号 令和2年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第15号 令和2年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第16号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の管理職手当の支給に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第17号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

(2) 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特别会員、賛助会員の加入促進に努めました。

○会員加入の状況（令和元年度）

会費の種類	会費1口	会員数	会費納入額	前年比
普通会员	500円	15,876世帯	7,961,050円	99%
特别会員	1,000円	705件	995,500円	98%
賛助会費	5,000円	33施設	165,000円	100%
計			9,121,550円	99%

2 基金・寄付事業

(1) 善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めました。

令和元年度 預託の状況

①金銭預託

金銭預託	収入の部	科目	金額	預託者（敬称略）	
		前年度繰越金	5,055,933円		
		預託金額	260円	湯津上地区公民館女性セミナー	260円
		預金利息	50円		
		合計	5,056,243円		
金銭預託	支出の部	科目	金額	配分先	
		配分金額	504,000円	市身障児（者）保護者会	64,000円
市ボランティア連絡協議会	208,000円				
市いきいきクラブ	64,000円				
市身障福祉会	152,000円				
市母子寡婦福祉会連合会	16,000円				
		合計	504,000円		
収入支出差引残高			4,552,243円		

② 物品預託

	寄付者氏名（敬称略）	預託物品		用途
1	コーヒーカップ	車いす	1台	市民に貸出
2	野田新聞店有限公司ノダネットワークサービス	車いす	1台	
3	キャノンメディカルシステムズ労働組合 キャノン電子管デバイス労働組合	タオル	150本	福祉施設・保育園へ配布
4	連合栃木那須地域協議会	タオル	140本	
5	殿生征志	紙おむつ類		
6	松本きみえ	自転車	1台	生活困窮世帯へ配布
7	小森雄子	布団一式		
8	佐藤通洋	扇風機・テレビ・ストーブ等	15台	
9	株式会社エヅリン	洗濯機・冷蔵庫・自転車等	16台	
10	匿名	ランドセル	20個	

(2) 地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」を設け、寄附、利息等による基金の運用を行っています。

○ 基金運用状況

科目	金額	摘要
前年度末基金原資残高 ①	191,250,839円	
令和元年度寄付金額等 ②	17,022,275円	紫塚地区社会福祉協議会 20,000円 市補助金 17,000,000円 募金箱 2,275円
預金利息 等 ③	1,407,397円	平成23年度栃木県公募債利金等を含む
区分間繰入金支出 ④	8,406,891円	令和元年度原資取崩額 7,000,000円 預金利息分繰出 1,406,891円
令和元年度末基金原資残高 ①+②+③-④	201,273,620円	定期預金等へ繰出

(3) 赤い羽根共同募金事業

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日までの期間、募金活動を行ないました。令和元年8月26日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議しました。

○令和元年度共同募金実績一覧

(単位：円)

区分	目標額	募金実績額	達成率	前年度実績額
戸別募金	5,614,000円	5,625,085円	100.2%	5,662,387円
特別募金	2,990,000円	2,952,733円	98.8%	3,016,157円
学校募金	366,000円	380,962円	104.1%	379,790円
街頭募金	420,000円	351,081円	83.6%	455,868円
職域募金	465,000円	562,749円	121.0%	463,115円
イベント募金他	294,000円	303,490円	103.2%	306,948円
計	10,149,000円	10,176,100円	100.3%	10,284,265円

令和元年度募金からの配分：令和2年度の配分予定は 6,427,100円

○共同募金配分金事業

○「おおたわらを良くするしくみ」応援助成事業

共同募金の助成を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の新たな課題を発見し、問題解決をしようとしている福祉活動を応援すること、また、助成による活動の成果を発信することで、共同募金の使いみちの透明性を図り、共同募金への理解を深めることを目的として実施しました。

審査委員会

令和2年1月23日(木)に、大田原市福祉センターにて開催
助成申請団体による活動説明を経て、審査を行ないました。

☆助成対象（助成は令和2年度に実施します）

	団体名	申請事業	申請金額
1	紫塚ニュータウン自治会 (べっぴんさー9る)	紫塚ニュータウンほほえみ事業	50,000円
2	むつみ会 (那須赤十字病院看護部)	マタニティクラス	50,000円
3	富士見ハイツ自治会	高齢者並びにひとり暮らし高齢者を 対象とした食事会の開催	50,000円
4	佐久山地区外出支援事業	外出支援事業	50,000円
5	一般社団法人えんがお	えんがおベンチプロジェクト	50,000円

6	いずみの会	施設訪問による交流	50,000円
7	語りべ「造の会」	世代を超えて地域の伝統を伝える語りべ	50,000円

令和元年度に事業に取り組んだ団体

	団体名	申請事業	助成額
1	いずみの会	とんぼだんごづくりと福祉施設訪問	50,000円
2	一般社団法人えんがお	えんがおベンチプロジェクト	50,000円
3	佐久山地区外出支援事業	外出支援事業	50,000円
4	紫塚ニュータウン自治会 (べっぴんさー9る)	紫塚ニュータウンほほえみ事業	50,000円
5	オカリナの風くろばね	地域の伝統文化に関心を持ちながら、オカリナの演奏を通して交流の場を持つ	50,000円
6	富士見ハイツ自治会	高齢者を主体とした食事会の開催とコミュニケーションの場をつくる	50,000円
7	語りべ「造の会」	世代を超えて地域の伝統を伝える語りべ	50,000円

3 その他

(1) 大田原市福祉センター管理運営事業

大田原市からの委託を受けて、市福祉センターの管理運営にあたり、各種講座や会合、集会等に次のとおり利用がありました。

区 分	総数	研修室1.2	研修室3	調理室	相談室	ボランティア室
市福祉センター	492件	168件	113件	35件	82件	94件

○「おもちゃの図書館」の運営

おもちゃ遊びをとおして、障がいのある児童もない児童もふれあい、交流活動が行えるように福祉センター内に「おもちゃの図書館」の設置運営を行ないました。

※ おもちゃの図書館は、大田原市社会福祉協議会事務所の移転により、令和2年3月31日をもって終了しました。

(2) 被表彰者について

(氏名 敬称略)

◎第25回 栃木県民福祉のつどい

令和元年8月29日(木)

栃木県社会福祉協議会会長表彰

日常生活自立支援事業功労者 沖坂 純子

栃木県共同募金会知事表彰

室井 敏雄

栃木県共同募金会会長表彰

小野寺 尚武 平山 文夫 増渕 三好
印南 行雄 大嶋 勝美 大金 恵二

◎大田原市社会福祉協議会会長表彰

中澤 正信 滝田 稔

◎全国社会福祉大会

令和元年11月22日(金)

全国社会福祉協議会会長表彰

大田原市社会福祉協議会職員 西海 敏恵